

平成23年度
ディスクロージャー資料

2012

NISHI-NIPPON CITY BANK



ココロがある。コタエがある。

西日本シティ銀行

目次

ごあいさつ	2
-------	---

経営方針	3
------	---

「New Stage 2011～元気よく～」トピックス	5
-----------------------------	---

平成23年度業績ハイライト

損益の状況（単体）	9
自己資本比率の状況	9
不良債権の状況（単体）	10
貸出金の状況（単体）	10
預金・預り資産の状況（単体）	10

業務運営方針

コーポレート・ガバナンス	11
法令等遵守態勢	13
当行が契約している指定紛争解決機関	15
リスク管理の体制	16

主要な業務内容 19

組織・ネットワーク

役員	20
組織	21
店舗のご案内	22

資料編

目次	30
連結ベース	32
単体ベース	75
報酬等に関する開示事項	124
開示項目一覧	126



西日本シティ銀行本店

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って
時代の変化に適応し、
お客さまとともに成長する“九州No.1”バンクを
目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、
誠実に対応し、圧倒的に支持される
銀行をめざします。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、
積極的に社会的責任を果たすことで
広く信頼される銀行をめざします。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、
自由闊達で積極果敢に行動する
人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、
丁寧に対応し、
真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、
熱く行動し、チャレンジし、
スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの
期待をこえた、新しく、価値のある提案を
お届けします。

会社概要

（平成24年3月31日現在）

商号	株式会社 西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	206か店
従業員数	3,782名
総資産	7兆3,972億円
預金・譲渡性預金残高	6兆4,615億円
貸出金残高	5兆1,779億円



シンボルマークには、西日本シティ銀行がお客さま・株主・社会とともに成長し、喜びをわかちあい、地域に根ざした花を咲かせていくという願いを込めました。上部の花びらはそれぞれがステークホルダー（個人や法人のお客さま、株主、地域社会、行員など）を表し、下部の人間像はそれらを力強く支えていく西日本シティ銀行の姿勢と喜びを表現しています。また、全体をユニークで独自性の高いフリーハンドで図案化し、躍動感や人間的優しさを表現しています。コーポレートカラーは、あたたかい人間性や輝く太陽を表すオレンジと、洗練性や先進性を感じさせるブルーの2色を使用しています。

●本資料は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

●計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。



ごあいさつ

皆さまには、平素より西日本シティ銀行をお引き立ていただき、また常に温かいご支援を賜り、まことにありがとうございます。

わが国経済の概況は、東日本大震災や原発問題などの影響を大きく受けたものの、サプライチェーンの復旧に伴う企業の生産活動の回復や各種の政策効果などにより、持ち直しの動きが見られました。しかし、欧州の財政危機を背景とした世界経済の減速懸念や急速な円高の影響、タイの洪水被害による企業業績の悪化懸念などから、持ち直しの動きは緩やかなものとなり、先行き不透明な状況が今なお続いております。当行の地元、九州の経済に目を向けますと、震災後の機能分散の観点から、各種生産拠点としての役割が高まるなかで、米国や新興国向けの堅調な輸出などが下支えとなり、底堅く推移しました。特に、福岡県においては九州新幹線鹿児島ルート全線開通や国内最大級の駅内商業施設「JR博多シティ」開業の効果が表れております。

このような経営環境のなか、当行は、「中長期的な視点に立ち、当面は“いかなる環境をも乗り越え、国際化時代にも対応できる強靱な経営基盤の構築”に取り組むべき時期である。」との考え方に立って策定しました中期経営計画「New Stage2011～元気よく～」(計画期間平成23年4月～平成26年3月)に基づき、目指す銀行像「国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク」の実現のため、お客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズに対してお客さま目線に立った総合金融サービスを提供していくと同時に、徹底したコスト削減による経営効率のさらなる向上に取り組んでおります。

今後も「地域の活性化なくして地銀の将来なし」との認識のもと、全役職員が“元気よく”中期経営計画を実行し、地域経済の発展のために邁進してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年7月

取締役頭取 久保田勇夫